

●「測高地区」を市街化区域として整備します (事業費921万1千円)

「測高地区」の都市計画変更に伴い、公園整備に向けた実施設計、用地取得に向けた測量等を行います。また、水害対策として、調整池を設けます。

Q 公園の整備スケジュールは。

A 住環境に配慮し、最適な構造形式を検討していく。



▲緑公園、青調整池の配置図

●水稲被害対策でカメムシ防除に支援します (事業費564万円)

米の品質低下の大きな要因とされるカメムシが、過去10年で最も多く発生し、大きな被害が出ているため、その防除に係る取り組みを支援します。

Q 例年のカメムシ発生状況と比べどうなのか。米以外の作物の被害はないのか。

A 「あいちのかおり」の品質第1位の比率を比較すると、令和元年度産が約7%であったものが、2年度産は約4%と非常に落ち込んでいる。



▲カメムシの水稲被害

関係機関に確認したところ、米以外の被害は、大豆がある。

○その他の主な事業

- ・移動系防災行政無線設備更新工事
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・ダイヤモンド婚・金婚等祝事業
- ・佐屋中央保育園修繕工事
- ・ワクチン再接種費用助成
- ・あいさい野菜メニュー提供店スタンプラリー
- ・国民健康保険特定健康診査自己負担額を無料化

討論 令和3年度一般会計予算

賛成

反対

主な取り組みとして、電波法の改正による、移動系無線設備の更新、児童発達支援センターを設置する。現在行っている生活困窮者自立支援事業に、家計改善支援、就労準備支援を追加し、事業の充実を図り、社会福祉法人へ事業の委託を行い、専門的に支援を行う。道の駅「立田ふれあいの里」を中心とした、観光拠点の整備に向け建築基本設計、用地測量等を行う。

歳入では、国・県の動向を注視し、補助金などの新たな財源の確保を積極的に進め、歳出では、事務事業の見直し、効率化を進めると共に、将来に向けた持続可能な行政基盤の確立に向け、事業の取捨選択や、事業改善等を行っている。

一番の反対理由は、「道の駅」事業だ。コロナ禍の中、いったん立ち止まるべきだ。まずは、市民の暮らしを守るために税金は使わばい。また、将来の維持管理費の見通しが不明に進むことも問題だ。

今の市の福祉で、本当に困っている人が救いきれているのか。支援が行き届いていない。例えば、一時保育は使いにくく、利用者が限られている。ファミリーサポート事業にひとり親や生活保護世帯、準要保護世帯への補助制度を作るべきだ。直営だった佐織包括支援センターを委託することも疑問だ。